

CORPORATE PROFILE

2023 岩谷産業株式会社
会社案内



企業理念

世の中に必要な人間となれ、 世の中に必要なものこそ栄える

創業者 岩谷直治が「常に進化する世の中に対応できる企業だけが生き残る」という基本原則を事業哲学としてまとめたものです。

当社の基幹事業であるLPガス事業は、主婦の台所労働を大幅に軽減する「家庭の燃料革命」を進め、今や暮らしに、産業に、緊急時にも信頼できるクリーンエネルギーとして全国のライフラインを支えています。

また、創業者が1941年から手掛け、市場を一から開拓してきた水素は、今や産業用途のみならず、脱炭素社会の究極の担い手としてエネルギー利用の道が拓かれ、社会実装に向かって大きく動き出しています。

地球温暖化をはじめとする環境問題など、多くの解決すべき社会課題がありますが、当社はこれからも「世の中に必要なもの」を絶えず創造し、ご提供することにより、持続可能な社会、循環型社会、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

Contents

P 1	企業理念	P21	産業ガス・機械事業
P 3	中期経営計画「PLAN27」	P25	マテリアル事業
P 5	トップメッセージ	P27	中央研究所・岩谷水素技術研究所
P 7	イワタニの歴史	P29	サステナビリティ
P 9	事業フィールド	P31	組織図
P11	5分でわかるイワタニ	P32	会社概要
P13	低・脱炭素ソリューション	P33	国内拠点／国内主要関係会社
P15	水素事業	P35	海外拠点
P17	総合エネルギー事業	P37	ガス供給拠点

中期経営計画「PLAN27」(2023~2027)

2023年度を初年度とする5カ年の中期経営計画「PLAN27」を策定しました。

社会課題に対して、当社の「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」という企業理念に基づき、ステークホルダーに必要とされる事業を行い、「社会課題の解決」と「持続的な成長」に向けた事業拡大を図ってまいります。

長期ビジョン

2030年の姿を示し、4つの長期ビジョンを掲げました。

この長期ビジョンの実現を確かなものにする重要な期間として「PLAN27」を位置付けています。

2030年の姿 「住みよい地球」の実現に貢献し続ける企業グループ

長期ビジョン

- CO₂フリー水素サプライチェーン構築
- 循環型社会の推進
- 地域社会を支えるインフラ・サービスの提供
- 持続的成長を推進する経営基盤の強化

「PLAN27」

テーマ 水素エネルギー社会の実現に向けて

基本方針 「社会課題解決」と「持続的成長」に向けた事業拡大

経営数値目標

営業利益 **650** 億円 ROE **10** %以上 ROIC **6** %以上

資本政策

5年間累計投資額 **4,700** 億円

株主還元

配当性向 **20** %以上
累進配当

※：市況要因を除く当期純利益ベース(2027年度目標値)

重点施策

水素戦略

- 脱炭素関連の需要拡大を捉えた液化水素ビジネスの拡大
- CO₂フリー水素サプライチェーンの構築

脱炭素戦略

- 低・脱炭素ソリューション事業の推進による事業拡大
- 脱炭素社会の実現に向けた投資

国内エネルギー・サービス戦略

- LPガスの事業インフラを活用したシェア拡大流通合理化
- 地域の社会課題解決に貢献するサービスの提供

海外戦略

- 各セグメントの強みを生かし、各地域の事業を拡大

非財務戦略

気候変動への対応

2030年度

当社グループ(国内)のCO₂排出量

50%削減

(2019年度比)

人材戦略

- 人材の獲得・成長・活躍を通じて組織の成長という好循環を生む

女性管理職比率 **10** %以上

社員1人あたり年間研修費用 **150** 千円

男性育児休業取得率 **100** %

技術戦略

- 「ガス&エネルギー」の拡大に欠かせない技術・保安力を強化する

投資の内訳

	投資額	投資内容
成長投資	4,200 億円	
重点施策	3,200 億円	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂フリー水素サプライチェーン構築 ●低・脱炭素ビジネス推進 ●国内エネルギー事業拡大 ●海外での成長投資
基盤事業	1,000 億円	<ul style="list-style-type: none"> ●国内エアセパレートガス供給能力拡大 など
保守・修繕	500 億円	<ul style="list-style-type: none"> ●LPガス工場の修繕 など

代表取締役会長 兼 CEO

牧野 明次



代表取締役 社長執行役員

間島 寛



「世の中に必要とされる企業」であり続けるために 新たな価値の創出に努め社会に貢献していきます

1930年の創業時より、当社は「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」という企業理念のもと、くらしや産業にエネルギー、産業ガス、マテリアルなど幅広い商品やサービスをお届けしています。その根底には、これからの世の中が必要とする新しい価値を創造することで、社会に貢献したいという思いがあり、それが事業推進の大きな原動力になっています。

当社は1941年から水素を究極のクリーンエネルギーとして捉え、水素エネルギーの普及に向けた歩みを進めてまいりました。創業40周年を迎えた1970年に発表した「住みよい地球がイワタニの願いです」をスローガンに、水素の利活用を通じてCO₂フリー社会を実現することで、環境問題という社会課題の解決を目指すとともに、SDGsの達成にも貢献してまいります。

水素エネルギー社会の実現に向けては、2020年12月に設立された「水素バリューチェーン推進協議会」では共同代表の一員として、また、世界のエネルギー関連企業が中心となって発足した「Hydrogen Council(水素協議会)」の主要会員として、当社はグローバル規模で水素利用促進に向けた活動を行っています。

水素の新たな需要創出については、燃料電池自動車(FCV)の普及に向けて日本国内および米国で水素ステーションの整備を進めています。今後は、トラックやバスなどの燃料電池商用車向け水素ステーションの整備や、セルフ化の推進など運営コストの削減に注力してまいります。

また、工場の脱炭素化や、電車や船舶など水素を利用する大型モビリティの実用化に対応した燃料供給など、お客様の脱炭素化ニーズに応える新たな水素需要を獲得してまいります。

CO₂フリー水素の確保に向けては、豪州の電力会社や鉄鉱石生産会社と共にグリーン液化水素製造の事業化を検討しています。特に、NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)のグリーンイノベーション基金事業に採択された「液化水素サプライチェーンの商用化実証」においては、年間数万トンの大規模な水素の液化・輸送技術を世界に先駆けて確立し、水素の製造・液化・出荷・海上輸送・受入までの一貫した国際間の大規模液化水素サプライチェーンの実証を行います。

国内では再生可能エネルギーによる発電でグリーン水素を製造する「福島新エネ社会構想」への参画をはじめ、廃プラスチックからの水素製造への取り組みを開始するなど、多角的な実用化検討を行っています。

一方、当社の主力であるLPガス事業は全国330万世帯以上の顧客がその事業基盤になっています。安定供給、お困りごとの解決、保安、地域貢献、環境などさまざまな側面からお客様のくらしをサポートしています。また、LPガスに水素を混合することによる低炭素化やプロパネーションの実現(グリーンLPガスの合成)に向けた研究など、LPガスの脱炭素化にも積極的に取り組み、お客様・地域から選ばれる「エネルギー生活総合サービス事業者」へと進化してまいります。

来るべき100周年、そしてその先への飛躍に向けて、これからも全てのお客様、株主・投資家の皆さま、お取引先、地域の方々、そして社員に新たな価値を提供し続け、「進化する総合エネルギー企業」として持続的な成長を目指してまいります。

イワタニの歴史

会社の沿革

1930

岩谷直治商店を創業



1945

岩谷産業株式会社を設立



1962

大証(8月)、東証(12月)に
二部上場

1965

大証・東証に一部上場(4月)

1972

中国の友好商社に指定され
中国貿易本格化

1987

Iwataniのロゴマークを採用
NHK交響楽団と事業協力を開始



2010

大阪本社を移転



2011

東日本大震災に全社を挙げて対応
カセットこんろ・ボンベなど救援
物資を緊急出荷



2013

新たな技術拠点として
中央研究所を設立



2017

陸上競技部を創部
監督は廣瀬 永和氏、アドバイザー
として2019年に野口 みずき氏が
就任



2021

水素や脱炭素関連の新たな技術
開発を目的に、岩谷水素技術研究所
を設立

1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020~

事業の展開

1941

水素の販売を開始

1952

合成樹脂の取り扱いを開始



1953

日本初、家庭用プロパンガスの
全国販売を開始



1953

ルチールサンド(被覆剤)の
取り扱いを開始



1958

水素ガスの自社製造を開始



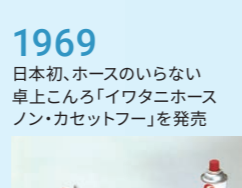
1960

育継器「ブルーダー」の
輸入販売を開始



1964

東京オリンピック聖火に
マルキプロパンを供給



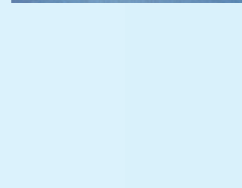
1969

ガス警報器「みはり」を発売



1969

ガス警報器「みはり」を発売



1974

冷凍食品の販売を開始



1975

(株)コールド・エアー・
プロダクツを設立
産業ガスメーカーとなる



1977

(株)安川電機製作所(現 安川
電機)と代理店契約を締結し、
溶接ロボットの販売を開始



1978

日本初、大型商用液化水素
製造プラントを稼働開始



1980

LPガス輸入基地「堺LPGターミ
ナル」が完成。産ガス国からの
直接輸入を開始



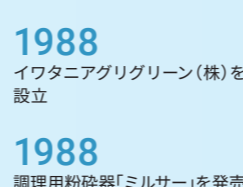
1982

イワタニ・ケンボロー(株)を
設立(PIC社と契約調印)



1985

ユニオン・カーバイド社と
業務提携



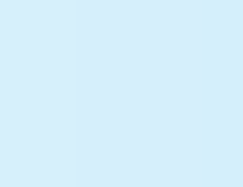
1988

調理用粉砕器「ミルサー」を発売



1989

中国・大連市との合併で
大連岩谷気体機具有限公司を
設立



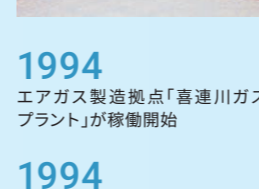
1991

初めての自社専用LPガスタンカー
「パンフィック・センチュリー号」
就航



1993

マルキプロパン発売40周年を
記念し、ブランドを「Maru Gas」
に改称



1994

エアガス製造拠点「喜連川ガス
プラント」が稼働開始



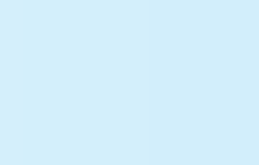
1995

阪神・淡路大震災を契機に
「Maru Gas災害救援隊」を結成



1997

ドラールミネラルインダストリーズ
社(豪州)を買収



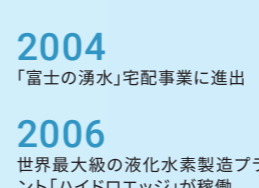
2000

電力各社と提携し
LNG販売事業に進出



2002

日本初の本格的な水素ステーション
を大阪・西島に完成



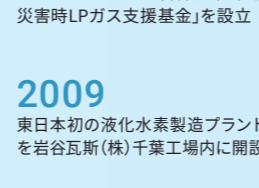
2004

「富士の湧水」宅配事業に進出



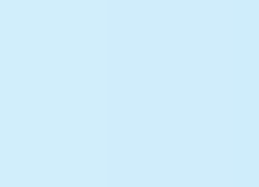
2006

世界最大級の液化水素製造プラ
ント「ハイドロエッジ」が稼働



2009

東日本初の本格的な水素製造プラ
ントを岩谷瓦斯(株)千葉工場内に開設



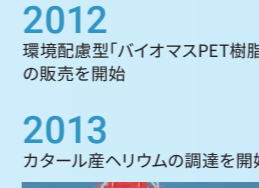
2010

大阪ヘリウムセンターが稼働



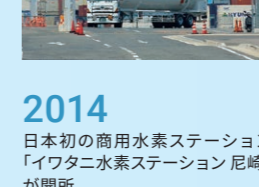
2012

災害対策を講じた
「LPG基幹センター」の整備を開始



2012

環境配慮型「バイオマスPET樹脂」
の販売を開始



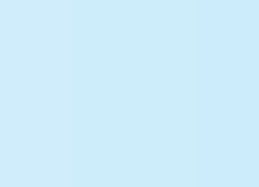
2013

カタール産ヘリウムの調達を開始



2014

日本初の商用水素ステーション
「イワタニ水素ステーション 尼崎」
が開所



2015

バイオマス燃料「PKS」の
取り扱いを開始



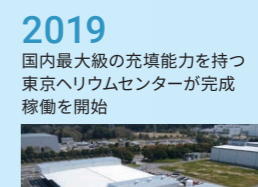
2016

電力小売事業へ参入



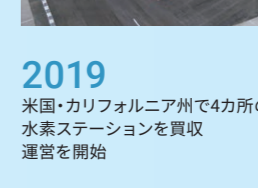
2017

都市ガス小売事業へ参入



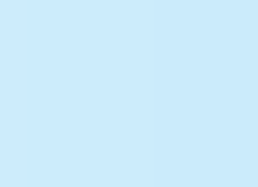
2018

HySTRAの日豪間における褐炭
由来水素の海上輸送実証試験が
完遂



2019

国内最大級の充填能力を持つ
東京ヘリウムセンターが完成
稼働を開始



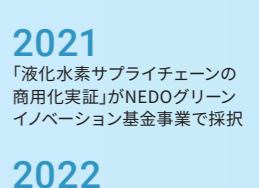
2020

水素バリューチェーン推進協議会
に共同代表として参画



2021

「イワタニゲートウェイ」の
サービスを開始



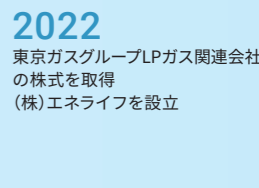
2021

「液化水素サプライチェーンの
商用化実証」がNEDOグリーン
イノベーション基金事業で採択



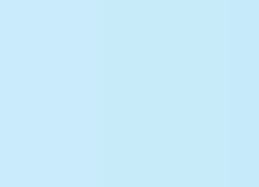
2022

トキコシステムソリューションズ
(株)を買収



2022

東京ガスグループLPガス関連会社
の株式を取得
(株)エネライフを設立



3つの事業フィールド

イワタニは「ガス&エネルギー」を中心に、

総合エネルギー事業

産業ガス・機械事業

マテリアル事業

の3つの事業を展開しています。



総合エネルギー事業



エネルギー

家庭用・業務用LPガス「MaruiGas」/工業用LPガス/都市ガス
電気/LNG/灯油/LPG供給設備/LNGサテライト設備
ボイラ/コージェネレーション/工業炉

生活物資

LPガス非常用発電機/GHP/エネファーム/業務用給湯器
高機能換気設備/太陽光発電/蓄電池/ガス警報器
イワタニゲートウェイ/炊き出しセット/オートガススタンド

カートリッジガス

カセットこんろ/カセットボンベ
アウトドアブランド「FORE WINDS」/ミルサー
家庭用洗剤「ALALA」/宅配天然水「富士の湧水」/健康食品

産業ガス・機械事業



産業ガス

酸素・窒素・アルゴン/炭酸ガス/ヘリウム/アセチレン
アンモニア/冷媒ガス/再生医療/重水素/ハイドロカット
高圧ガス供給設備/タンクローリー

水素

液化水素・圧縮水素
液化水素ローリー/液化水素タンク
水素供給設備/水素ステーション

機械

接合切断技術/ロボットシステム/電子部品製造装置
半導体・自動化関連設備/環境関連装置/医薬関連装置
鍛圧・板金機械/工作機械/粉末成形装置/コンプレッサ

マテリアル事業



機能樹脂

PET樹脂/アルミ触媒PET樹脂/バイオマスPET樹脂
バイオマスPP・PE・PS樹脂/汎用樹脂/エンブラ樹脂/樹脂成形品

資源

ミネラルサンド(ジルコン・チタン鉱石)/バイオマス燃料(PKS・木質ペレット)
耐火物原料/金属粉・カーボン材料

新素材

レアメタル原料/レア・アース/ナノ材料/セラミックス成形品
その他電子関連材料

金属

ステンレス/アルミニウム/銅・銅合金/機能性アルミ箔
高合金・ニッケル合金/高性能ステンレス箔/金属加工品/再生金属

電子マテリアル

電池原料(コバルト・リチウム・マンガン他)/電池用部材
ディスプレイ用機能性フィルム

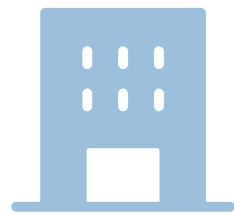
5分でわかるイワタニ

2023年3月31日現在

イワタニってどんな会社？

創業

1930年



1930年に創業者 岩谷直治が「岩谷直治商店」として創業。溶接棒やカーバイドなどの販売からスタートしました。

資本金

350億**96**百万円



2020年、資本金が200億円から350億円となりました。

拠点数

国内 **45**カ所
海外 **72**カ所



海外での事業展開を強化しており、さまざまな分野でグローバルに事業を行っています。

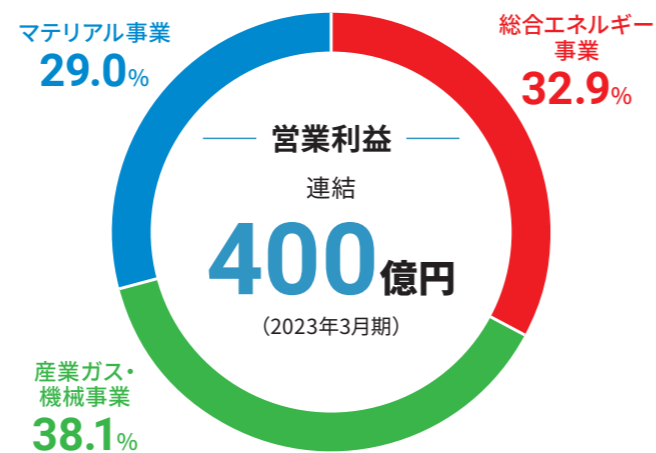
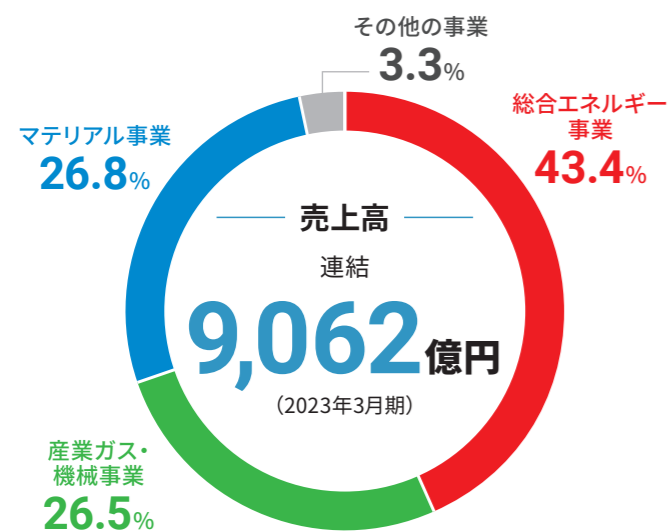
連結従業員数

11,351名

グループ会社数

236社 **105**社
(うち連結子会社)

売上・営業利益



※その他調整額を含んでおりません

イワタニのNo.1

家庭用LPガス

小売

卸売

110万世帯 **330**万世帯以上



1953年、当社は日本で初めて家庭用プロパンの全国販売を開始しました。当社のLPガスブランド「MaruiGas」は、全国330万世帯以上でご利用いただいている国内No.1ブランドです。(自社調べ)

LPGセンター

一次・二次・三次基地数

118カ所



くらしに欠かすことのできないLPガスの安定供給のため、輸入からご家庭までお届けする一貫供給体制を全国規模で構築しています。(自社調べ)

カセットこんろ・ボンベ

カセットこんろ

カセットボンベ

4,291千台 **157**百万本



国内シェアNo.1

1969年に発売開始したカセットこんろ・ボンベは、家庭からレジャーの分野にまで需要を広げ、さまざまなバリエーションを展開し、ご家庭の食卓を支えています。
※数量は国内外年間販売数量(自社調べ)

ヘリウム

国内シェア

約**50**%



先端産業に欠かせない希少資源「ヘリウム」。当社はアメリカとカタールから調達し、安定した供給体制を構築しています。
※出展：ガスジオラマ2023

水素

圧縮水素+液化水素国内シェア

液化水素国内シェア

約**70**% **100**%



1941年に水素の取り扱いを開始してから約80年。水素エネルギー社会の実現に向け、液化水素のグローバルサプライチェーンの構築に取り組んでいます。
※オンサイト・バイピングを除く(自社調べ)

水素ステーション

国内

54カ所



燃料電池自動車(FCV)やFCトラックの普及拡大に向け、水素ステーションの整備を日本と米国で進めています。

バイオマスPET樹脂

国内シェア

約**70**%



植物由来の原料を使用した環境配慮型PET樹脂。2010年より販売開始し、国内No.1のシェアを誇っています。(自社調べ)

ミネラルサンド

年間取引量

10万t超



1952年、日本で初めて取り扱いを開始したレアメタル資源「ミネラルサンド」は国内取引量No.1。オーストラリアでは100%権益の自社鉱区を操業しています。
※2022年12月現在(自社調べ)

低・脱炭素ソリューション

これまで培ってきた事業基盤や技術力を生かし、幅広いフィールドで低・脱炭素ソリューションを提供します。

CO₂可視化・価値化

CO₂排出量の算定・可視化サービス

企業活動におけるCO₂排出量の算定と、国際基準であるGHGプロトコルにおける自社の活動(Scope1・2)、自社以外のサプライチェーン全体(Scope3)のCO₂排出量を可視化できる(株)ゼロボードのクラウドサービス「zeroboard」を、製造業を中心としたお客さまに提供しています。



CO₂削減量の環境価値化「Iwatani J-クレジットプロジェクト」

加入したお客さまが削減したCO₂排出量を当社が取りまとめ、J-クレジットとして環境価値化します。お客さまは認証手続きの手間やコストをかけることなく制度に参加でき、CO₂削減量に応じて当社サービスなどを対価として受けることができます。



エネルギー

LPガス・LNGへの燃料転換

大幅なCO₂削減をするためには、CO₂排出量の少ないエネルギーへの転換が最適です。重油や灯油からLPガス・LNGへの燃料転換することで、CO₂排出量を15%~30%程度削減することができ、省CO₂や省エネにつながるから補助金の取得も可能です。



水素のエネルギー利用

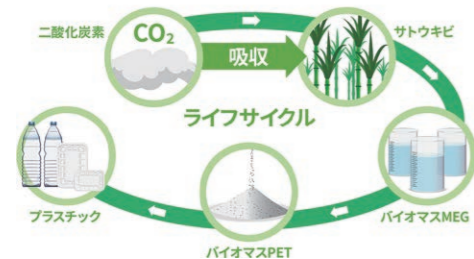
水素の可能性にいち早く着目し、圧縮水素のシェアは国内トップ。液化水素においては日本唯一のメーカーとして100%のシェアを有しています。水素ステーションの建設サポートや、純水素型燃料電池、水素ボイラの提案、LPガスに水素を混焼する実証試験なども行っています。



原材料

バイオマスPET樹脂、バイオマスPP・PE樹脂の提供

サトウキビの搾りかすである廃糖蜜から精製したバイオマスMEGを原料とし、PET樹脂組成の約30%を植物由来品で構成したバイオマスPET樹脂や、廃棄物・残渣油などの再生可能資源を利用するバイオナフサを使用したバイオマスPP・PE樹脂の提供を行っています。



再生金属原料の提供

使用済みの電子部品や回路基板には、銅や貴金属が多く含まれており、再生金属原料としての価値を有します。また採掘工程がない再生金属原料からの金属製造はCO₂排出量を大幅に削減することができます。当社は海外から再生金属原料を安定的に調達し精錬企業に供給しています。



生産プロセス

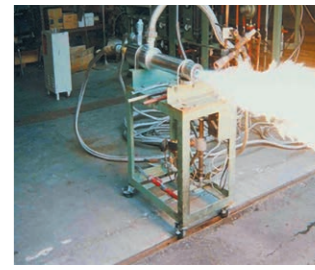
切断用ガスの省CO₂「ハイドロカットシリーズ」

水素切断用プレミックスガス「ハイドロカットシリーズ」は、水素のイワタニがお届けするクリーンで安全な切断用ガスです。ハイドロカットはアセチレンガス、Newハイドロカットはプロパンガスの代替として、従来よりもCO₂の排出量を大幅に削減することが可能となります。



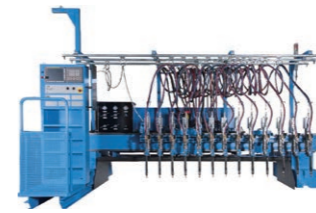
バーナーや工業炉の省CO₂

純酸素バーナーや酸素富化燃焼は、空気での燃焼に比べ、燃料のエネルギーを有効に利用できるため、火炎温度も高く、生産性の向上や時間短縮など省エネ化を図ることができます。バーナーのシステム設計、燃料の供給まで一貫した体制でサービスを提供しています。



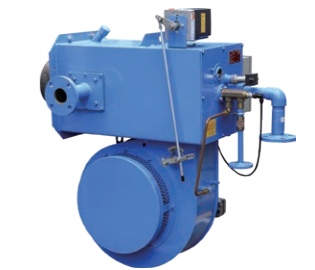
水素切断機によるCO₂削減

当社は、さまざまな製造の現場に向けた各種機械設備を長年にわたり取り扱ってきました。コータキ精機(株)製水素切断機は水素100%を使ったガスの切断が可能となり、切断時のCO₂排出量ゼロを実現、サプライチェーンにおけるCO₂削減に貢献します。



水素混焼バーナーによるCO₂削減

当社は、大気汚染、水質浄化、廃棄物処理と環境保全に向けた各種設備を長年にわたり取り扱ってきました。水素混焼バーナーは0~100%の任意の割合で水素の混焼比率を設定でき、CO₂削減を最適なコストバランスで実現できます。



ユーティリティ

蒸気・温水ラインの省エネ

ガス焚きの高効率蒸気ボイラはボイラ効率が最高102%、高効率な潜熱回収型温水ボイラは最高105%と油焚きと比較して効率が高く、省エネ・省コストにつながります。放熱ロス削減やシステム全体の効率改善、蒸気・温水ラインの見直しなどの診断・提案が可能です。



圧縮空気の省エネ(エアコンプレッサ)

小型から大型、スクルー式・ターボ式などさまざまな機種を取扱経験があり、最適な機種の選定や最適稼働のための台数制御、省エネ診断など、エアの無駄をなくす提案が可能。コンプレッサ本体だけでなく、周辺機器のドライヤーの効率化など総合的な省エネ提案を行います。



排ガス浄化装置の省エネ

当社は、大気汚染、水質浄化、廃棄物処理と環境保全に向けた各種設備を長年にわたり取り扱ってきました。蓄熱燃焼式排ガス浄化装置(RTO)は、ハニカム蓄熱体の高い熱交換率により省エネ、CO₂削減に貢献しています。



再生フロン／自然冷媒の提供

国際的な環境規制により、地球温暖化係数の高いフロンの生産量・消費量が段階的に引き下げることが決定しています。2024年には2017年比で40%の削減(CO₂換算値)が求められており、再生フロンや自然冷媒(高純度炭酸ガス、アンモニア)が注目されています。当社は、地球環境に配慮した再生フロンや、フロンに替わる環境に優しい自然冷媒を提供し、CO₂排出量の削減に貢献します。



脱炭素社会で注目を浴びる
究極のクリーンエネルギー

水素



燃料電池や半導体製造、ロケットの燃料など、環境・ハイテクをはじめさまざまな分野で利用される「水素」。液化水素はその環境性の高さから、化石燃料に替わるクリーンエネルギーとして社会を変える力を秘めています。当社は、産業用途の液化水素供給を日本で初めてスタートさせ、将来の水素需要増大への対応や、CO₂フリー水素製造実証など数々のプロジェクトや社会実験を通じて、水素社会のインフラ整備を進めています。



ハイドロエッジ (大阪府堺市)

水素のパイオニア

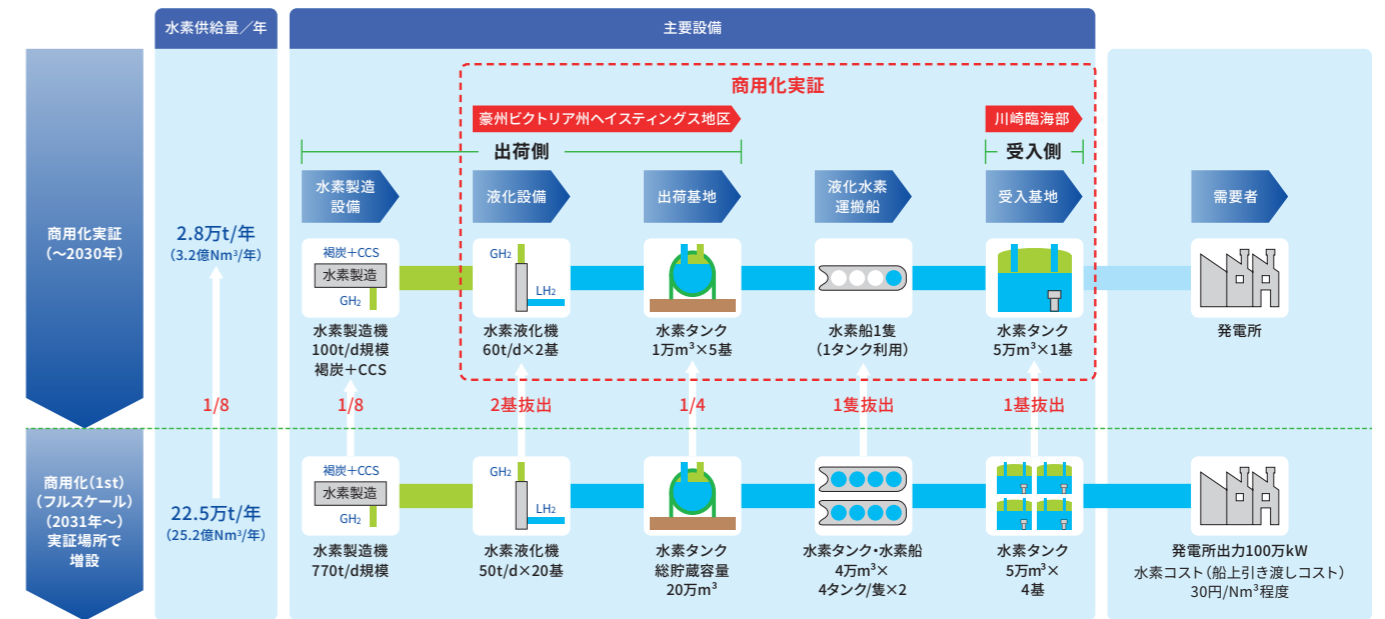
当社は1941年からいち早く水素の可能性に着目し、水素の製造、サプライチェーンの構築、用途開発を進め、日本の水素利用の拡大に貢献しています。圧縮水素のシェアは国内トップ。液化水素は日本唯一のメーカーとして100%のシェアを有しています。世界最大級の生産能力を誇る「ハイドロエッジ」の他、千葉県市原市の「岩谷瓦斯千葉工場」、山口県周南市の「山口リキッドハイドロジェン」の3拠点体制で全国への安定供給を行っています。これらの工場で製造された液化水素は、宇宙ロケットの燃料用途をはじめ、国内の電子デバイス・化学・金属・ガラスなど100社以上のお客さまや、純水素型燃料電池や水素ボイラなどのエネルギー利用、そして全国の水素ステーションに供給されています。



パナソニック(株)草津工場(純水素型燃料電池と太陽光パネルによる電力供給)

グローバル液化水素サプライチェーンの商用化に向けた実証事業プロジェクト

当社では、脱炭素社会に向けた水素エネルギー社会の実現を目指し、CO₂フリー水素のグローバルサプライチェーン構築に向け取り組みを進めています。具体的な取り組みとしては、日本水素エネルギー(株)、ENEOS(株)と共同で、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)による「グリーンイノベーション基金事業/大規模水素サプライチェーンの構築プロジェクト」の一環として、年間数万tの大規模な水素の液化・輸送技術を世界に先駆けて確立し、水素製造・液化・出荷・海外輸送・受入までの一貫した国際間の液化水素サプライチェーンを構築する商用化実証事業を行います。当社はこのプロジェクトの中で、海外での液化水素の製造や国内外基地の検討、顧客基盤を生かした需要側との連携を担います。



日豪間の大規模なグリーン液化水素サプライチェーン構築に向けた事業化調査の実施

当社は、関西電力(株)、丸紅(株)、豪州のエネルギー企業であるStanwell社と共に、2021年から大規模なグリーン液化水素の製造および日本への輸出に向けた事業化調査(FS)を行ってまいりましたが、この調査結果を踏まえ、最終投資判断に向けた検討を本格的に実施すべく、グリーン水素の引取候補先である、シンガポールのエネルギー企業であるKeppel社を交え、5社で基本設計作業(FEED)を進めることに合意しました。本事業は、長期にわたり安定的かつ安価なグリーン水素の製造および供給を行うことを目指しており、2028年頃に200t/日、2031年以降に800t/日のグリーン水素製造を想定しています。



水素製造拠点 豪州 アルドガ地区の土地(イメージ)

廃プラスチックのガス化による水素製造サプライチェーンの構築

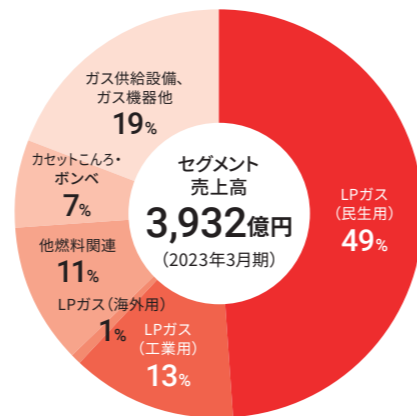
当社は、豊田通商(株)、日揮ホールディングス(株)と共に、廃プラスチックガス化リサイクルによる低炭素水素製造に関して、愛知県名古屋港近郊での協業を検討しています。中部圏においては、廃プラスチックの回収・水素製造・利活用のポテンシャルが高いことが明らかになっており、自治体と共に取り組みを進めています。早期に基本設計業務を開始し、2020年代中頃での水素製造開始を目標として取り組んでいきます。



くらしと社会を見つめ
届けるべきものを見いだす

総合エネルギー

LPガスのリーディングカンパニーとして輸入から供給までの一貫体制を構築し、設備施工・メンテナンスまでトータルサービスを提供します。さらに、カセットこんろ・ボンベや「富士の湧水」、「イワタニゲートウェイ」など、くらしを豊かにする商品やサービスも展開しています。



堺LPG輸入ターミナル (大阪府堺市)

脱炭素への取り組み

燃料転換の推進

重油や灯油からLPガス・LNGへの燃料転換をすることで、CO₂排出量を15%~30%程度削減することができ、省CO₂や省エネにつながることから補助金の取得も可能です。当社では毎年全国で100件程度の燃料転換の実績があり、提案から施工、ガス供給、メンテナンスまでワンストップで対応します。



LPG供給設備

ボイラ設備

J-クレジット制度を活用したサービス

国が主導するJ-クレジット制度を活用し、環境意識の高いお客さまのCO₂削減活動をより一層、推進・サポートすることを目的として「Iwatani J-クレジットプロジェクト」を創設しました。本プロジェクトに加入したお客さまは、燃料転換、省エネ機器の導入などにより削減したCO₂排出量を当社が取りまとめて手続きすることで、認証手続きの手間やコストをかけることなく環境価値化することが可能となり、当社はCO₂削減量に応じて、対価を還元するサービスを提供しています。



LPガス事業

国内で唯一、輸入からご家庭までお届けする一貫供給体制を整備

家庭用・業務用・工業用LPガスのリーディングカンパニーとして、欠かすことのできないLPガスの安定供給を維持するために、自社の輸入基地とオーシャンタンカーを保有し、輸入から供給までの一貫体制を構築しています。また、全国に約400カ所の営業・配送拠点を有しており、その販売・物流・保安体制を生かし、きめ細やかで質の高いサービスを全国で提供しています。



国内No.1*の事業基盤

当社のLPガスブランド「Marui Gas」は、全国で330万世帯以上のご家庭にご利用いただいており、そのうち、直売顧客数は110万世帯で、小売部門・卸売部門において国内トップシェアとなっています。

※2023年3月末現在(自社調べ)

トータルサービスの提供

ボンベ・バルク・ローリーなどさまざまな供給方法でLPガスをお届けし、LPG供給設備やLPガスを使用する消費機器の施工、メンテナンスまでワンストップで対応します。さらに、24時間365日有人で監視するセンターを保有しており、ガス漏れなどガスの安全を見守るサービスを提供しています。

IoTプラットフォーム「イワタニゲートウェイ」

「イワタニゲートウェイ」が切り拓く次世代サービス

ガス警報器に情報ネットワーク機能を付加したイワタニゲートウェイをプラットフォームとし、当社が全国に有するLPガスの事業基盤とデジタル技術を融合することで、地域の社会課題解決に貢献する新サービスの提供に取り組んでいます。ガスの見守りサービスだけでなく、子供の見守りや買い物代行サービス、高効率ガス給湯器のCO₂削減効果を環境価値化し還元するサービスや介護が必要となる前段階の虚弱状態であるフレイルのリスクを検知するサービスなど、新たな取り組みを進めています。



LNG(液化天然ガス)

全国の電力・都市ガス会社などと提携しており、全国規模でLNGの供給が可能です。LNG販売数量は、約30万t/年と全国でも有数の数量を誇ります。各地でローリー車を保有しているため、災害などの有事の際にも他エリアからのバックアップ供給も可能です。



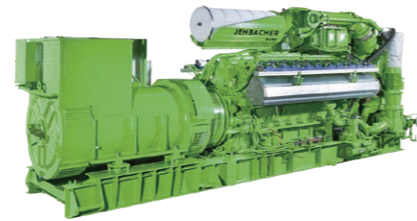
LNG地域導管事業(都市ガス事業)

LNGの可能性を地域のエネルギーインフラとして生かす、LNG地域導管事業を行っています。当社グループである甲賀エナジー(株)では、関西電力(株)堺LNGセンターから輸送されたLNGとLPガスを混合して都市ガスを製造し、家庭用や工業用のお客さまなどに供給しています。



コージェネレーション

一つのエネルギーから複数のエネルギーを生み出すシステム。ガスコージェネレーションはLPガスやLNGなどを燃料として、エンジンやタービンなどを駆動して電気をつくり、その際に生じる廃熱を回収し、お湯や蒸気を生み出すシステムです。停電や電力不足対策に貢献します。



カセットガス関連商品

1969年に発売開始したカセットこんろ「カセットフォー」は、家庭からレジャーの分野にまで需要を広げ、米国や中国、台湾を中心に海外にも展開するロングセラー商品に成長しました。その可能性をさらに広げる商品として、焼肉グリルやたこ焼器、炉ばた焼器などをラインアップ。カセットガス式のストーブは暖房に加え、アウトドアや防災用途でも活躍します。変化するライフスタイルやニーズに合わせて、さまざまなバリエーションを展開し、カセットガスでご家庭の食卓を支えています。



GHP(ガスヒートポンプ)

室外機のコンプレッサをガスエンジンで駆動し、ヒートポンプによって冷暖房を行う空調機。消費電力はEHPの約1/10となり、電気のデマンド抑制に最適です。また、電源自立型のGHPでは、停電時にバッテリー電源で運転を開始し、空調や照明などの継続使用が可能となります。



LPガス非常用発電機

災害に強い分散型エネルギーであるLPガスを燃料として発電し、停電時には自動で電気を供給するLPガス非常用発電機。LPガスは劣化しにくく、長期保存が可能な燃料のため、公共施設、福祉施設、病院、学校、工場などの停電対策として導入が進んでいます。



エネファーム

LPガスや都市ガスから水素を取り出して、空気中の酸素との化学反応により電気をつくる家庭用燃料電池で、発電時に発生する熱でお湯も沸かします。エネルギー効率が高く、CO₂排出量を大幅に低減でき、断水時には貯湯タンクから生活用水を取り出して使うこともできます。



FORE WINDS

1995年から続くアウトドアブランド「FORE WINDS(フォアウインズ)」を刷新し、グローバルブランドとして国内外で発売。ブランド誕生時のコンセプト「自然との融合」に「機能的で良質なデザイン」を新たに加え、機能美を追求したアウトドアギアを展開しています。



ミルサー

1988年に発売を開始した、乾燥食品を粉末状に加工する家庭用調理家電「ミルサー」。煮干しや野菜など、そのままでは食べにくい食品の粉碎や離乳食づくり、ペースト、スープ、ジュースなどさまざまな用途で活躍する当社のロングセラー商品です。



家庭用洗剤「ALALA」

ALALAシリーズは「天然パームヤシ油」由来の洗浄成分で、人にも地球にもやさしい家庭用洗剤。肌にやさしい自然派のブランドとしてハンドソープから食器用洗剤、ボディソープ、薬用入浴液までラインアップを展開しています。



デリバリーステーション

「これ1台でどこでも簡単、本格調理」をコンセプトに、あらゆるシーンでおいしいご飯や汁ものなどが安全に調理できる当社オリジナルのLPガス専用炊き出しセットです。約100人分の炊飯、汁ものを同時調理でき、災害への備えとして、イベントやアウトドアの調理器具として活躍します。



電力事業

2016年4月からの電力小売全面自由化により、「イワタニでんき」ブランドで家庭用電力販売市場に参入。首都圏、関東圏を中心としたMaruiGas顧客を対象に、LPガスとのセット割引などお得なメニューを提供しています。

都市ガス事業

2017年4月の都市ガス小売全面自由化により、お客さまが都市ガス会社を自由に選択できるようになりました。当社は、全国のLPガスネットワークや長年培ったガス機器保安ノウハウを生かし、大手電力会社と提携し、ガス機器の保安点検や修理、販売などを行っています。

24時間監視システム「テレセーフ」

ご家庭でのガス漏れや燃料器具の長時間使用などをイワタニコールセンターで24時間365日有人監視します。緊急情報を察知すると、お客さまへの連絡と同時にMaruiGas販売店に通報し、家庭での事故を事前に防止するシステムです。

ガス警報器「みはり」

当社オリジナルブランドのガス警報器「みはり」は1969年の発売以来50年以上にわたり、多くのご家庭に設置され、ガスの安全を見守っています。当社では、検知するガスの種類や検知方法、設置場所により、お客さまに最適な警報器を提案します。

宅配天然水「富士の湧水」

自然豊かな富士山北麓より採水したバナジウムを多く含む天然水「富士の湧水」。最新の製造工場での徹底した品質管理と、空気に触れにくい使い切り容器「D-パック」で、おいしい天然水を確かな安全と共にお届けします。賞味期限も2年となり、災害時の備蓄水としても活躍します。



健康食品

液化窒素を使った超低温凍結技術で素材の良さをそのまま生かした「スポリキ」「胡麻どうふの素」をはじめ、オーストラリア産の「マヌカハニー」、和歌山県産の「じゃばら」、黒酢、青汁など優れた食の素材を通じて、健やかな暮らしの実現に貢献しています。



Iwatani Outdoor Shop BASE

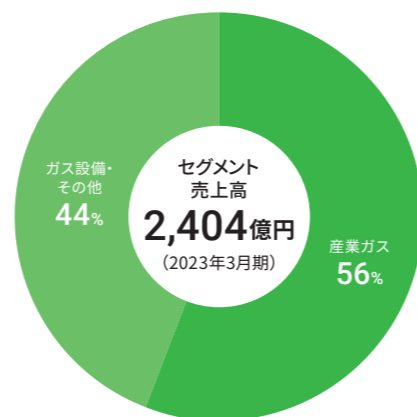
2021年10月、当社初の直営ショップとして大阪・本町にオープン。本ショップは、日本で唯一当社のカセットこんろがすべて揃っており、当社グループのBtoC商品もフルラインアップ。さまざまなイベントや取り組みを通じて、消費者との交流の場所としても活用しています。



技術力とガス・設備を組み合わせた総合力で
最適なソリューションを

産業ガス・機械

エアセパレートガス（酸素・窒素・アルゴン）や炭酸ガス、ヘリウム、水素、半導体材料ガス、医療用ガスなどの産業ガス事業と、各種ガス製造・供給設備、溶接用ロボット、FAシステム、溶接装置、電子部品製造装置、環境機器などの機械事業を展開。ガスと機械の幅広いラインアップにより、お客さまに最適なソリューションを提供します。



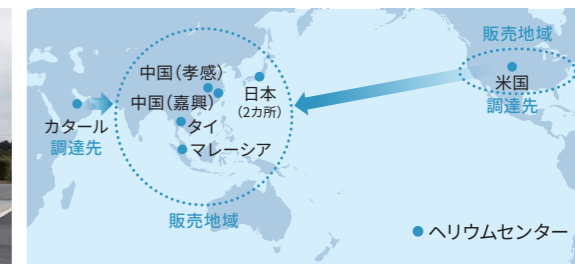
岩谷瓦斯(株) 甲府工場(山梨県甲府市)

ヘリウム

確かな調達力、国内No.1*のヘリウムサプライヤー

ヘリウムは、沸点マイナス269°Cという極低温特性や高温域でも不活性である特性があり、先端技術や医療に欠かせない希少な天然資源です。当社は直輸入権益を得たカタールおよび米国の2カ国から調達し、安定した供給体制を構築しています。東京ヘリウムセンターと大阪ヘリウムセンターの国内2拠点に加えて、中国・東南アジアでの拠点を増強しており、堅調な需要が続くヘリウムの安定的かつ効率的な供給を実現しています。

*出典：ガスジョラマ2023



新ガス・新分野・新市場への取り組み

新ガス開発への挑戦

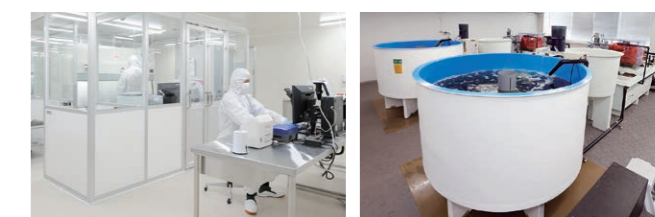
「必要なら探す、なければ創る」お客さまの課題を徹底的に共有し、不可能を可能にするのがイワタニの「新ガス開発」の視点です。高濃度オゾン分野では、不可能とされていた50%以上の高濃度オゾン水の製造・貯蔵技術を確立し、半導体製造の分野などに応用。半導体製造用クリーニングガスのスタンダードとなったClF₃(三フッ化塩素)によるノンプラズマクリーニングも当社が独自に開発した技術です。

再生医療分野での取り組み

当社の強みである産業・医療・食品用ガスのハンドリング技術を生かし、再生医療分野に本格参入。中央研究所内に「再生医療・バイオ研究室」を設立し、大学との共同研究やベンチャー企業との業務資本提携などを通じて、細胞の保管・輸送などコールドチェーンの構築に取り組んでいます。

陸上養殖への取り組み

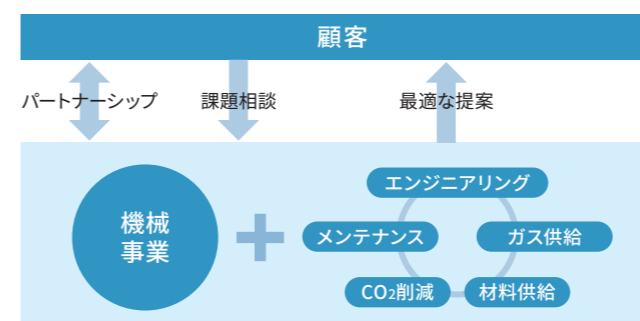
当社はこれまで30年以上にわたり、陸上養殖向けの酸素ガスや酸素溶解装置などを取り扱ってきました。今後さらなる事業拡大に向け、中央研究所に陸上養殖の研究設備を導入。長年培ってきたガス技術を活用し、陸上養殖市場の発展に貢献する技術開発やシステム開発を行っています。



ガス&ロボットによる最適なソリューションの提供

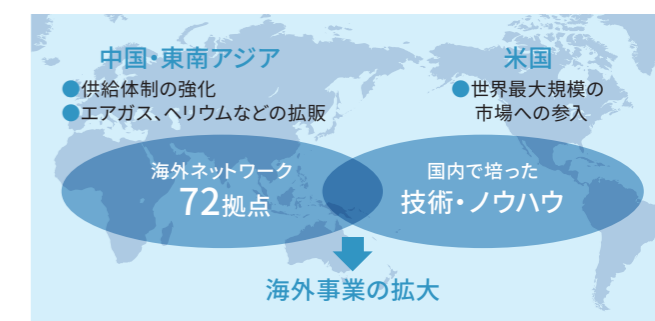
機械事業を起点とした事業の広がり

機械事業では、産業ガスに関わる設備だけでなく、半導体製造設備や各種ロボットなど豊富にラインアップ。お客さまの生産プロセスに関するさまざまなニーズにお応えし、機械設備とあわせて、ガス供給やメンテナンス、また、材料供給などについても最適な提案を行い、他社にはない事業の展開を行っています。



グローバル展開

これまで培ってきた技術・ノウハウと海外ネットワークを生かし、国内だけでなく海外でも事業を拡大しています。中国、東南アジア、米国を中心に、ガスの製造プラントなどのメーカー機能を拡充するとともに、FAシステムなどの機械分野でも販売体制の強化を図っています。



空気分離ガス(エアセパレートガス)

液化した空気から沸点の差を利用して取り出す酸素・窒素・アルゴンは、半導体製造や医療をはじめさまざまな分野に広く貢献しています。ガスの生産・供給体制を全国規模で拡充し、安定供給体制を構築。ガスの性質を活用したさまざまなアプリケーション技術も提供しています。



オンサイト供給

オンサイト供給とは、お客様の敷地内にガスプラントを直接設置してガスを生産・供給するシステム。お客様のニーズや使用条件に合わせた最適な設備をプラント内に組み入れることで、より効率的な生産システムの構築が可能となります。



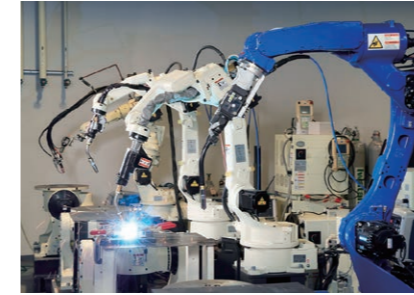
低温機器製造

低温液化ガスの貯槽やタンクローリーなど低温機器の製造・販売事業を展開。液化水素をはじめ、極低温ガスメーカーとして培ってきた低温技術を基本に、お客様に最適な輸送方法、貯蔵方法、供給設備を提供します。



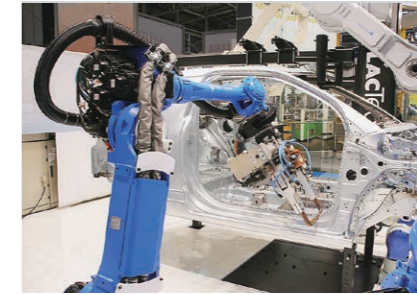
溶接・切断技術

アーク溶接、レーザー溶接、抵抗溶接、プラズマ溶接など多種多様な溶接を高品質で提案します。中央研究所の溶接デモンストレーションルームでは、多数のシールドガス・溶接機・溶接ワイヤを取り揃えており、さまざまな溶接の総合提案を実施し、溶接課題を解決します。



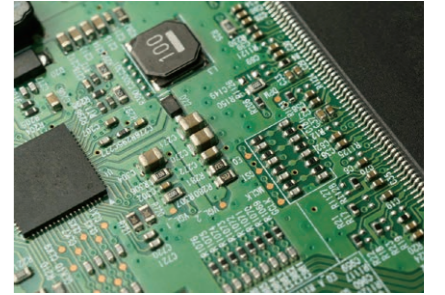
ロボットシステム

製造工程に合わせたロボットシステムの提供はもちろん、システムに必要なハンドツールや周辺機器などもトータルで提供します。拡大を続ける産業用ロボット市場で、独自のノウハウを生かし、さまざまな製造現場の合理化や効率化に貢献します。



電子部品製造装置

上流から下流まで製品をつくり上げる何十もの工程にマッチした装置をラインアップ。例えば、セラミックチップ部品では、グリーンシートの製造から最終製品の検査工程までの各種装置を取り扱っています。国内外のデジタル製品製造現場に、最適な装置を提供します。



炭酸ガス・ドライアイス

石油精製やアンモニア製造などの化学プラントから副生された高純度の炭酸ガスを液化・精製し、販売をしています。炭酸ガスの用途は溶接、飲料をはじめ、製銅、化学工業原料から農業分野にまで大きく広がっています。また、ドライアイスは食品冷却や冷凍輸送、プラスト洗浄、薬品の低温輸送など、幅広く活用されています。

※当社の販売する炭酸ガス・ドライアイスは各種産業から発生する炭酸ガスを再利用することで市場に供給しており、大気中の炭酸ガスを増加させるものではありません。



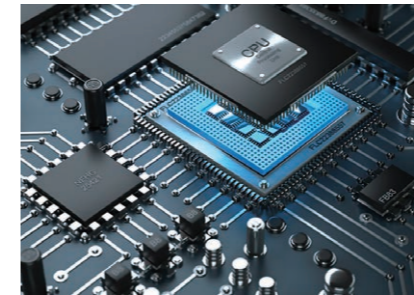
重水素ガス

重水素は水素ガスの同位体で、半導体などのエレクトロニクス、光ファイバー、化学など、さまざまな分野で用いられています。当社は重水素の安定供給のため、日本初となる重水素の商業生産を開始し、日本国内にて安定した供給体制を構築。半導体業界のご要望にお応えできる品質管理体制を整えています。



半導体・自動化関連設備

半導体製造装置や部材だけでなく、工場全体の自動化・最適化につながるトータルシステムを提案します。半導体や電子部品などの技術革新に対し、幅広い情報力と長年培ったノウハウを生かし、トータルシステムや新サービスの開発にも取り組んでいます。



環境関連装置

大気汚染、水質浄化、廃棄物処理と環境保全に向けた各種設備を長年にわたり取り扱ってきました。省エネ、温暖化ガス排出削減に貢献する最新の排ガス処理、排水処理、リサイクル関連機器を中心に脱炭素社会に向けたトータルサービスを提案します。



医薬関連製造装置

医薬品や化粧品品の製造、包装工程で必要となる機械、資材、エンジニアリング、サービスを国内やインドネシア、ベトナム、アジア諸国に提供しています。お客様の視点に立って製造工程の改善につながる高品質かつ最先端の商品とサービスを提供します。



総合プラント防災システム

ガスの「保安」のエキスパートとして、エリアごとに安全を見守る「総合プラント防災システム」。センサーによる多角的な安全監視、化学薬品や可燃性ガスなどの防火・消火からテロ対策に至るまで、当社が培ってきた危機管理ノウハウを最大限に生かしたシステムを提供しています。



環境良品の開発・提案

フロンガスに替わる自然冷媒「エコフリーズ」や、カーエアコン用新冷媒「HFO-1234yf」、ドライアイスに直径6mmほどのビーズ状に加工し冷却効率を高めた「ビーズドライアイス」など、ガスのポテンシャルを多様な視点で応用した環境良品を開発・提供しています。また、従来のLPガスやアセチレンと比べ、CO₂排出量を大幅に削減する水素ガスベースの混合ガス「ハイドロカット®」を提供。逆火が起りにくい安全性や放射熱が少ないことによる作業効率の向上が評価されています。さらに、大量にご使用されるお客様に向けた「ハイドロカットトレーラー」や、LPガスに代わる切断用途に特化した「New ハイドロカット」を開発しました。



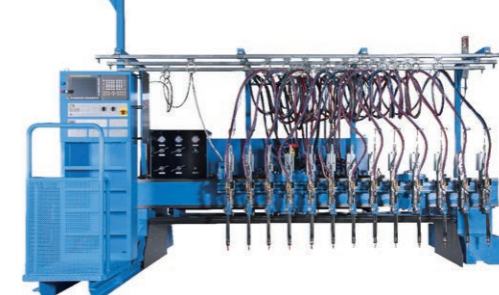
粉末成形装置

当社グループ会社であるコータキ精機(株)は長年の経験、実績、技術でさまざまな粉末成型のニーズにお応えします。粉末成形プレス、サイジングプレス、多層成形プレス、免震ゴム成形用大型ホットプレス、真空ホットプレスなど各種プレス機をラインアップしています。



機械事業の技術開発

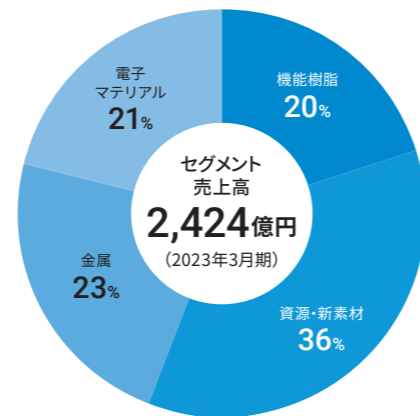
溶接用混合ガスのトップブランド「シールドマスター®シリーズ」は、多様な用途、母材のニーズに合わせて開発。幅広いラインアップで、溶接品質の向上を実現し、高効率化によるコストダウンも両立します。お客様の個別の課題解決に混合比の調整やオンサイト混合も設計しています。また、水素の混焼比率を自在に変更できる「混焼式水素バーナー」や「水素の切断装置」なども開発しました。長年培ってきたガスと機械の技術を融合し、お客様のさまざまなニーズにお応えする技術開発を行っています。



ニッチ市場は小さいとは限らない
素材から大きく育てる

マテリアル

ミネラルサンドなどの資源開発や用途開発に早くから取り組み、環境・エレクトロニクス・自動車産業に不可欠な原材料の調達・開発にも注力。さらに、循環型社会を見据えた環境商品や、バイオマス燃料の取り扱いにより、脱炭素社会の実現に貢献しています。



ミネラルサンド(ジルコン、チタン鉱石)

半導体用研磨材、セラミックス、耐火物等に使用されるジルコン、および顔料、金属チタン、溶接材料等に使用されるチタン鉱石の取り扱い、長年にわたり国内トップシェアを誇ります。世界最大手サプライヤー(南ア・カナダ産)の輸入販売に加え、西豪州では自社鉱区を操業、またノルウェーの新規チタン鉱石事業に出資を行い、複数拠点からの安定調達を行います。
※2023年3月末現在(自社調べ)



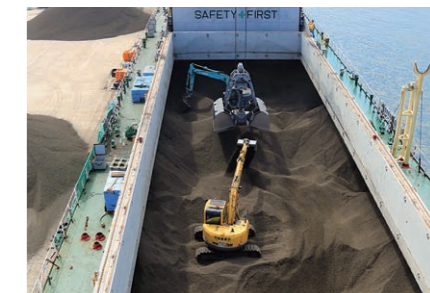
レアメタル・無機ナノ材料

半導体、電子部品、化学触媒、光学などを中心としたさまざまな分野へ、各種レアメタル、レアアース化合物の供給やセラミックス成形品の販売を行っています。また、大学やスタートアップ企業と共同で、将来の需要拡大が期待されるナノサイズの材料やパワー半導体用途の新素材の開発、脱炭素につながる触媒の開発などにも取り組んでいます。



PKS(パームヤシ殻)

石炭の代替として注目される木質ペレットやPKSをインドネシア、マレーシアから輸入し、国内のバイオマス発電所へ供給しています。高品質なPKSを提供するため、当社の中央研究所で発熱量や水分値などの項目を分析し、独自の品質管理を徹底しています。



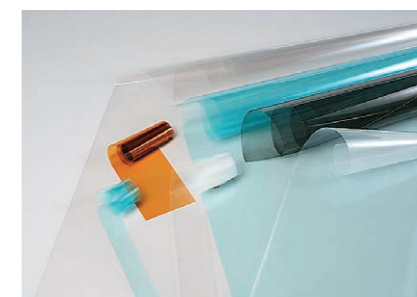
バイオプラスチック原料

ペットボトルなどの材料となるバイオマスPET樹脂をはじめ、バイオマスPP・PE・PS樹脂を本格的に市場へ投入しています。特にバイオマスPP樹脂については、世界唯一となる物理的分離品の取り扱いを強化しています。また、リサイクル性の高いPET樹脂(アルミニウム系触媒)の取り扱いにも注力しています。



プラスチック原料・機能樹脂製品

中国・東南アジアなどに張り巡らせたネットワークを通じ、国内外でプラスチック原料ならびに樹脂製品を展開。植物由来のバイオマスPET樹脂や機能性フィルムなど、高まる地球環境保護への意識や変化する市場ニーズを的確に捉え、商材開発に取り組んでいます。



ステンレス・アルミ・高合金

国内ではイワタニステンレス会を中心に全国規模で加工・在庫・流通のネットワークを構築。ユーザーの細やかなニーズに対応すべく、機動力を発揮できる体制を確立しています。また、海外ではスマートフォンや自動車部品など成長市場への販売に注力しています。



金属加工品

中国・東南アジアを中心に製造工場を設立し、メーカーポジションへの展開を進めています。今後さらに伸張する自動車やエアコン、電子部品関連業界をはじめ、多岐にわたる分野に金属加工品を開発・提案・供給しています。



電子・ディスプレイ関連事業

スマートフォンで使用されているディスプレイや電子部品には、当社が取り扱う機能性フィルムや電子材料が多数採用されています。これから市場拡大が見込まれる車載ディスプレイにも対応する、新しい素材の開発を進めています。



電池材料関連事業

次世代自動車用途で注目される「二次電池」。その正極材原料として、リチウム・コバルト・マンガンなどを海外から調達し販売しています。また電池セル間の応力緩和パッドや、消火シート、バスパー部品、金属加工品など特徴のある商品開発を進めています。



お客さまと共に技術の未来を発信

中央研究所

ガス&エネルギーを中心に多様な事業を展開してきた伊ワタニが、「明日を担う要素技術」をお客さまと共に築きあげていくために開設した研究開発センターです。最先端の各種分析機器・試験環境を整備し、社会のニーズを探る「情報力」と、ガステクノロジーをベースに長年培った独自の「技術力」で、お客さまやパートナー企業をはじめ、大学・公的機関や行政機関との連携により新技術・新商品を創出します。



バイオ関連技術

産業ガス分野で培ってきたガス応用技術と低温管理技術を活用し、再生医療分野でのコールドチェーン確立に向け、大阪大学と共同で細胞の保管・輸送技術開発を行っています。また、中央研究所内に完全閉鎖循環型の陸上養殖設備を設置。酸素ガスやLPガスを活用し、安定生産できる最適な陸上養殖システムの開発を行っています。



半導体・電子部品関連技術

半導体製造におけるクリーニングガスとして世界各国で採用されている伊ワタニの独自開発商品ClF₃(三フッ化塩素)の他、高濃度オゾンの製造・貯蔵技術や、重水素ガスの製造技術、金属ナノ粒子の製造技術を確立するなど、半導体・電子部品の製造に独自のガス技術で貢献しています。



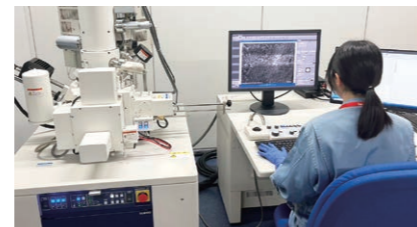
溶接関連技術

軟鋼・ステンレス・アルミなど国内外溶接メーカーのワイヤ、最新鋭の溶接機、ロボットを取りそろえた溶接デモンストレーションルームを整備。溶接機本体、溶接ワイヤ、シールドガスの組み合わせで、お客さまのさまざまなニーズにお応えする最適な溶接ソリューションをご提案しています。



分析基盤技術

機器や設備の実用試験に活用できる大型実験室をはじめ、環境試験室、クリーンルームなどの多機能・多目的の実験環境を整えています。また、ナノスケールの材料分析や高純度ガス分析、半導体製造などで使用される特殊材料ガス分析、食品・衛生分野における品質管理分析など、多種多様な最新の各種高精度分析装置を整備。最先端の分析・実験環境で次代を担う新技術の創出をサポートしています。



水素技術研究とクリーンエネルギー開発を加速

岩谷水素技術研究所

水素エネルギー社会の実現に向けて、これまでに取り組んできた水素関連技術の開発に加え、グリーン水素やグリーンLPガスの製造など脱炭素関連の新たな技術開発を加速・推進することを目的に「岩谷水素技術研究所」を2021年10月に設立しました。国内外で水素の利活用に向けた技術開発や事業化検証を行う他、バイオガス技術、炭化水素を合成する研究など、脱炭素社会の実現に向けた幅広い燃料製造技術の開発に取り組んでいます。



液化水素技術

国内トップレベルの液化水素試験設備を活用して、液化水素燃料時代を見据え、トラックやバスなどの大型車両向け液化水素充填技術の開発を行っています。また、液化水素の利用拡大を想定し、-253℃の液化水素の冷熱回収利用技術の開発にも取り組んでいます。



超高压水素ガス技術

135MPaまで水素を昇圧できる超高压水素ガス設備を活用し、金属材料などの水素適合性評価や機器の耐久性評価を通じ、水素ステーションの建設コスト低減や保安強化、規制見直しにつながる研究を行っています。また、今後の水素大量供給時代を見据えた機器開発や新技術開発にも注力しています。



クリーンエネルギー関連技術

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、バイオマス原料やグリーン水素と二酸化炭素からのグリーンLPガス製造技術開発を行っています。さらに一般家庭に水素混合LPガスを供給する社会実証の検討や工業炉向け水素混焼技術開発、研究所への燃料電池導入など、幅広くクリーンエネルギーの技術開発を進めています。



水素エネルギー啓発活動

水素が次世代のクリーンなエネルギーであることを体験し、知っていただくことを目的に、地方自治体やお客さまからのご要望に応え、水素エネルギーの紹介・展示を行うイベントを開催しています。水の電気分解や燃料電池ミニカー、水素ロケットの発射実験などを通して、一般の方々や子供たちに水素エネルギーの魅力を体験してもらっています。



サステナビリティ

「住みよい地球がイワタニの願いです」をスローガンに水素の利活用を通じてCO₂フリー社会を実現することで環境問題という社会的課題の解決を目指すとともにSDGsの達成に向けた取り組みを行っています。



環境への取り組み

環境マネジメント
「イワタニグループ環境憲章」および「岩谷産業 環境方針」を制定し、環境マネジメントシステムを構築、維持・運用しています。

社会への取り組み

社会貢献活動
文化活動や研究開発の助成、国際交流や技術支援を通じて社会への貢献に積極的に取り組んでいます。

ガバナンスへの取り組み

コーポレート・ガバナンス
企業理念に基づき、経営の健全性、透明性、効率性を高め、コーポレート・ガバナンスの構築に努めます。

イワタニ企業倫理綱領

1. 顧客が求める新しい価値を創造し、社会に貢献します。
2. 関係法令の遵守及びその精神を尊重し、公正で自由な競争を通じ、社会的責任をはたします。
3. 広く社会の共感、相互理解を得るために、積極的に企業情報を開示するとともに社会との対話を行います。
4. 事業環境の変化に柔軟に対応するため、人種・国籍・性・年齢等を問わず多様な価値観を尊重し、能力を充分発揮できる環境をつくりまします。
5. 「住みよい地球がイワタニの願いです」との認識に立って、脱炭素社会の実現及び環境との共生をめざす企業活動を行います。
6. 国際的な視野に立った企業経営を行います。

サステナビリティに関する詳細はこちらをご覧ください。



NHK交響楽団への事業協力

「交響管弦楽により、わが国の音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成する」というNHK交響楽団の主旨に賛同し、1987年から特別支援企業として「N響“夏”」を中心に、地方公演や海外公演に協賛。音楽を通じ、地域と文化のふれあいに貢献しています。



水素エネルギー社会実現に向けて

「水素エネルギー」の普及に向けて、ハイドロエッジをはじめとした水素の生産・供給体制を拡充。それと並行して水素ステーションの整備や安価で大量のCO₂フリー水素の調達に向けた検討、そしてイベントによる啓発活動など、多面的な取り組みを通して水素エネルギー社会の未来を牽引しています。



Marui gas 災害救援隊

災害時、速やかにLPガスの復旧作業を行うことを目的に、マルキガス販売店約1,400社の協力のもと結成された、民間エネルギー事業者で唯一の全国規模の防災組織です。1995年の発足以来、出動は31件を数えました。約3,600名のガス有資格者が参加し、年に一度、全国で一斉訓練を実施し、災害対応力の維持・強化に努めています。



陸上競技部

廣瀬永和監督や野口みずきさんの指導のもと、2023年には、プリンセス駅伝で優勝を飾り、3年連続となる全日本実業団女子駅伝(クイーンズ駅伝)出場権を獲得しました。今後も日本トップ選手の育成や、スポーツ活動を通じた地域・社会への貢献を基本方針として、クイーンズ駅伝で優勝争いのできるチームを目標に活動をしていきます。



鳥人間コンテスト

人力飛行機で飛距離を競う鳥人間コンテスト。そのコンセプトが、クリーンエネルギー社会を目指す当社の事業方向性と合致することから、創業80周年の記念事業として2010年より特別協賛を始めました。環境負荷低減に向けた取り組みや各種イベントへの支援も積極的に行っています。



サウジアラムコ・岩谷産業 緊急災害時LPガス支援基金

大規模な自然災害の被災地に、支援物資としてカセットこんろ・ボンベなどを無償提供する「サウジアラムコ・岩谷産業 緊急災害時LPガス支援基金」をサウジアラビア国営石油会社サウジアラムコと2009年に設立。直近では2021年8月の台風被害においても発動され、カセットこんろ・ボンベ、さらに飲料水として「富士の湧水」を届けました。



全国小学生作文コンクール

創業80周年記念事業として2010年にスタートした「『住みよい地球』全国小学生作文コンクール」は、当社が掲げる「住みよい地球がイワタニの願いです」の思いを、未来を担う子どもたちと共に考えようという取り組み。気付きと発見に満ちた子どもたちの「ことば」を未来につないでいきます。



岩谷直治記念財団

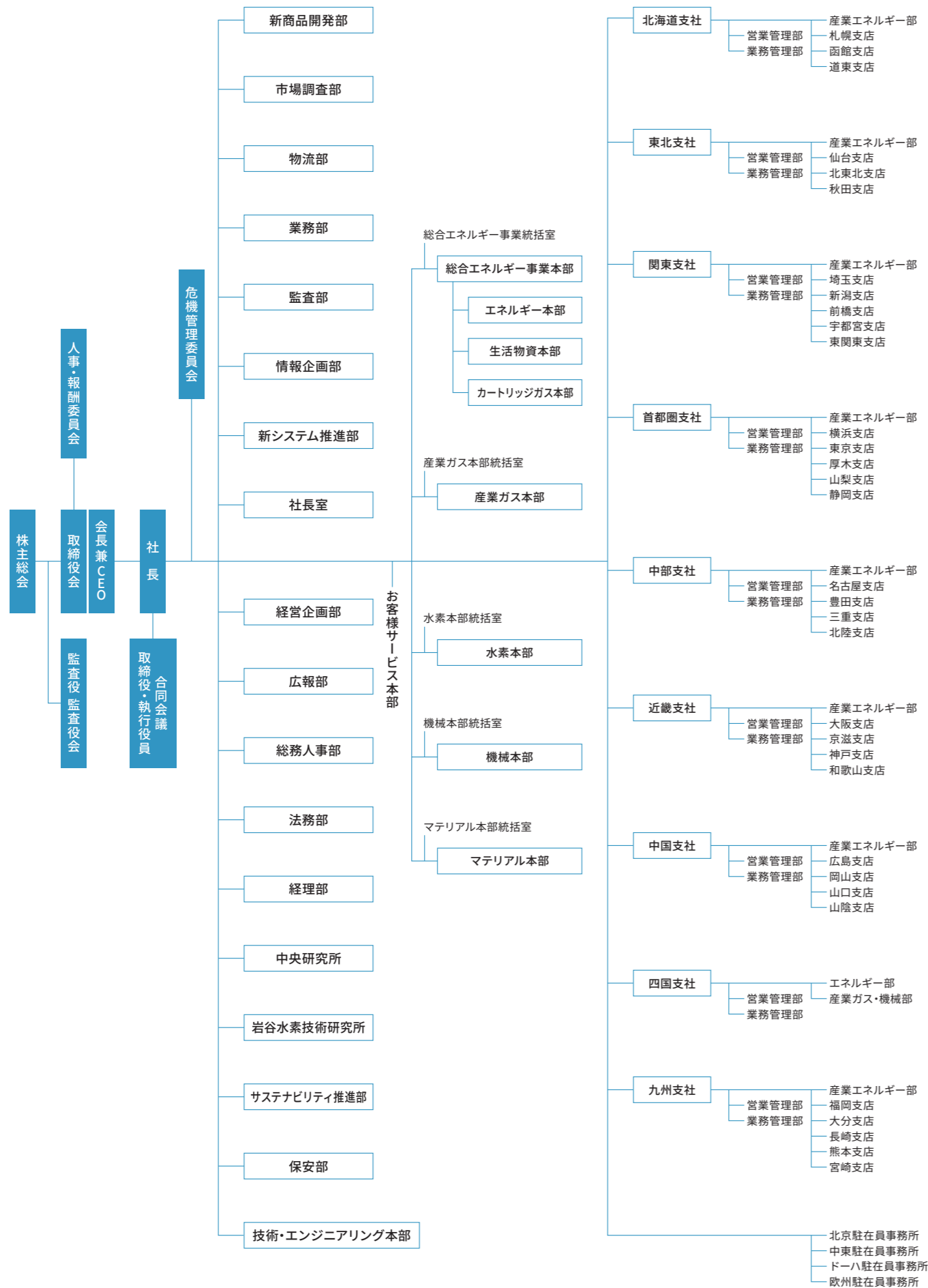
科学技術の発展と国民生活の向上を願い、創業者 岩谷直治が私財を投じて1973年に設立。エネルギー・環境分野への研究支援と表彰、アジアからの留学生支援を柱に社会貢献活動を展開。岩谷直治記念賞をはじめ、科学技術研究助成や留学生への奨学助成を通じて人と社会に寄与しています。



アジア各国の溶接技術向上に貢献

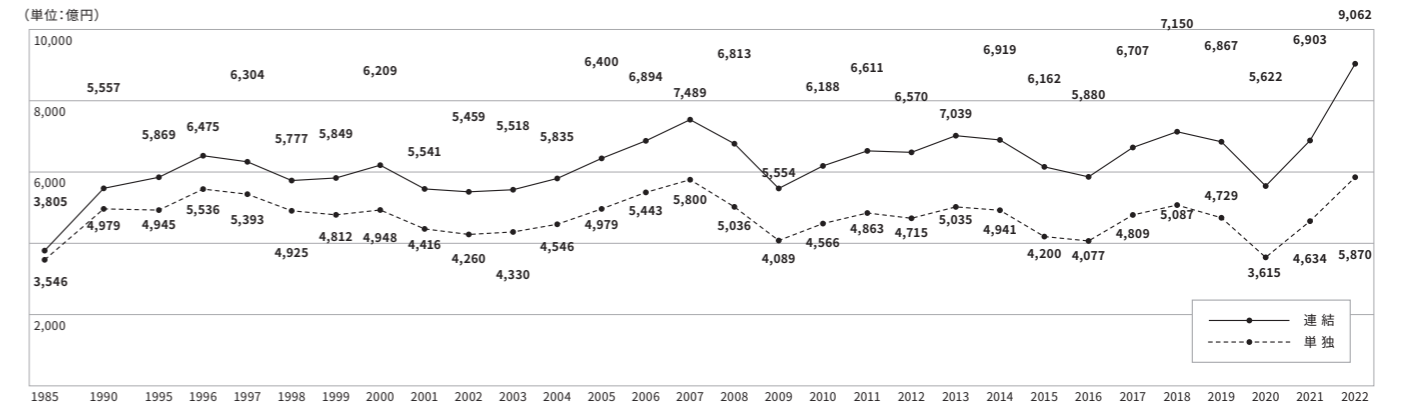
溶接技術の向上を目的とした支援活動を継続実施しており、中国・大連市で1997年から10年間、以降、2007年にはベトナム・ハノイで、2013年からはインドネシア・ジャカルタにて溶接セミナーおよび溶接コンテストを開催しました。今後も継続的に開催することで、アジア諸国の溶接技術向上の支援を行ってまいります。





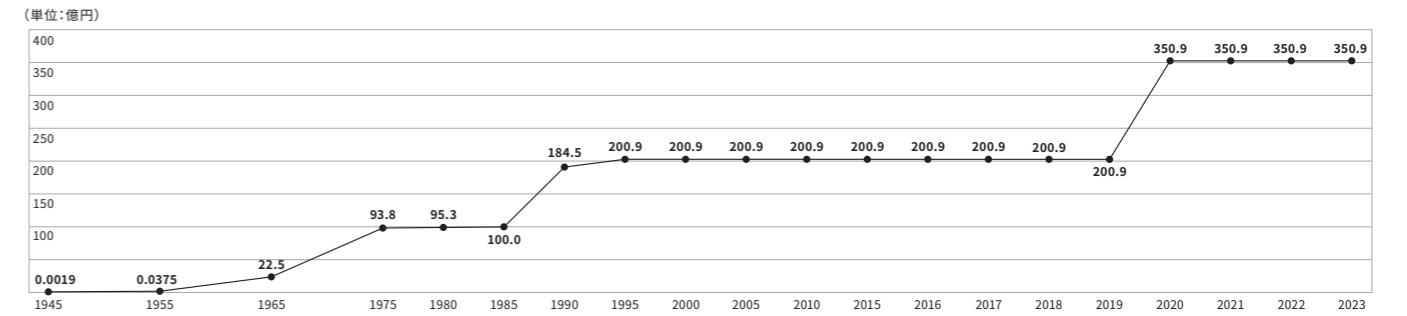
- 商号 岩谷産業株式会社 Iwatani Corporation
- 創業 1930(昭和5)年5月5日
- 設立 1945(昭和20)年2月2日
- 代表者 代表取締役会長兼CEO 牧野 明次
 代表取締役副会長 渡邊 敏夫
 代表取締役社長執行役員 間島 寛
- 資本金 350億96百万円
- 売上高 9,062億61百万円(2022年度連結実績)
- 従業員数 1,351名
- 事業所数 50[国内45・海外5]
- 株主数 36,608名
- 決算期 3月31日

売上高の推移



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、2020年度の業績も同基準を遡って適用し、数値を組み替えています。

資本金の推移



役員 (2023年8月1日現在)

取締役および監査役

- 代表取締役会長兼CEO 牧野 明次
- 代表取締役副会長 渡邊 敏夫
- 代表取締役社長執行役員 間島 寛
- 取締役副社長執行役員 堀口 誠
- 取締役専務執行役員 大川 格
- 取締役専務執行役員 津吉 学
- 取締役専務執行役員 福島 洋
- 取締役専務執行役員 廣田 博清
- 取締役 役 * 村井 真二
- 取締役 役 * 森 詳介
- 取締役 役 * 佐藤 廣士
- 取締役 役 * 鈴木 博之
- 取締役 役 * 齋藤 友紀
- 監査役 尾濱 豊文
- 監査役 岩谷 直樹
- 監査役 * 篠原 祥哲
- 監査役 * 横井 康

執行役員

- 専務執行役員 亀倉 隆志
- 専務執行役員 上田 恭久
- 専務執行役員 松尾 哲夫
- 専務執行役員 酒井 泰
- 専務執行役員 本折 憲司
- 専務執行役員 高山 健志
- 常務執行役員 矢野 浩之
- 常務執行役員 西村 昌人
- 常務執行役員 清水 尚之
- 常務執行役員 一色 渉
- 常務執行役員 宮垣 尚民
- 常務執行役員 平島 正郎
- 常務執行役員 松原 潤
- 執行役員 竹花 知彦
- 執行役員 齊藤 敦久
- 執行役員 中田 健志
- 執行役員 内田 博文
- 執行役員 小池 国彦
- 執行役員 和田 直樹
- 執行役員 横谷 和貴
- 執行役員 山田 佳邦
- 執行役員 中畑 勝己
- 執行役員 駒嶺 優茂礼
- 執行役員 室留 宏行
- 執行役員 岡本 峰春
- 執行役員 島崎 幸三
- 執行役員 渡邊 希美男
- 執行役員 橋本 信一

※印の取締役は社外取締役です。 ※印の監査役は社外監査役です。

国内拠点／国内主要関係会社

2023年6月21日現在

[本社]

大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4
 東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8

[支社／支店]

北海道支社 〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-2
 札幌支店 〒049-0111 北海道北斗市七重浜7-6-3
 函館支店 〒084-0913 釧路市星が浦南1-1-10
 道東支店 〒084-0913 釧路市星が浦南1-1-10
 東北支社 〒980-8481 仙台市青葉区花京院1-1-10
 仙台支店 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1
 北東北支店 〒011-0906 秋田市寺内後城322-2
 秋田支店 〒048-646-7020
 関東支社 〒338-0002 さいたま市中央区大字下落合1071-2
 埼玉支店 〒950-0961 新潟市中央区東出来島11-9
 新潟支店 〒371-0805 前橋市南町4-29-1
 前橋支店 〒371-0805 前橋市南町4-29-1
 宇都宮支店 〒320-0811 宇都宮市大通り4-1-18
 宇都宮支店 〒300-0034 土浦市港町1-7-23
 東関東支店 〒260-0032 千葉市中央区登戸1-21-8
 千葉支店 〒045-474-3960
 首都圏支社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-9-18
 横浜支店 〒104-6017 東京都中央区晴海1-8-10
 東京支店 〒046-222-7678
 厚木支店 〒243-0018 厚木市中町2-7-6
 山梨支店 〒409-3853 中巨摩郡昭和町築地新居1824-1
 静岡支店 〒424-0066 静岡市清水区七ツ新屋373
 中部支社 〒052-308-3651
 名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-23-20
 豊田支店 〒471-0828 豊田市前山町3-1-1
 三重支店 〒510-0074 四日市市鶴の森1-1-18
 北陸支店 〒920-0853 金沢市本町1-5-2
 近畿支社 〒06-7639-0046
 大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-33
 京滋支店 〒520-0051 大津市梅林1-3-24

神戸支店 〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2-7
 和歌山支店 〒640-8341 和歌山市黒田1-1-19
 中国支店 〒082-249-3615
 広島支店 〒730-8541 広島市中区銀山町2-21
 岡山支店 〒700-0903 岡山市北区幸町7-33
 山口支店 〒745-0036 周南市本町1-3
 山陰支店 〒690-0825 松江市学園2-16-37
 四国支社 〒087-814-8130
 〒761-8054 香川県高松市東ハゼ町6-1
 九州支社 〒092-411-2220
 福岡支店 〒812-8560 福岡市博多区博多駅前3-25-21
 大分支店 〒870-0027 大分市末広町1-1-8
 長崎支店 〒856-0025 大村市小路口町745
 熊本支店 〒860-0804 熊本市中央区辛島町8-23
 宮崎支店 〒880-0806 宮崎市広島1-18-7

[研究所など]

中央研究所 〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋3-3-16
 岩谷水素技術研究所 〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋3-3-16
 琵琶湖コンファレンスセンター 〒521-1136 滋賀県彦根市新海浜2-1-1
 滋賀研修所

[国内主要関係会社]

アイ・テック・サービス株式会社
 イワタニアイコレクト株式会社
 岩谷液化ガスターミナル株式会社
 イワタニカートリッジガス株式会社
 岩谷瓦斯株式会社
 イワタニカセットフー株式会社
 イワタニ関東株式会社
 イワタニ首都圏株式会社
 イワタニ長野株式会社
 イワタニ山梨株式会社
 イワタニ東海株式会社
 イワタニ三重株式会社
 イワタニ近畿株式会社
 イワタニ四国株式会社
 イワタニ島根株式会社
 イワタニ山陰株式会社
 イワタニ山陽株式会社
 イワタニ九州株式会社
 イワタニ鹿児島株式会社
 岩谷クリエイティブ株式会社
 イワタニ・ケンボロー株式会社
 岩谷興産株式会社



● 本社
 ○ 支社
 ● 支店
 ■ 研究所など

岩谷情報システム株式会社
 岩谷設備システム株式会社
 イワタニセントラル北海道株式会社
 イワタニセントラル東北株式会社
 イワタニセントラル福島株式会社
 イワタニセントラル北陸株式会社
 岩谷テクノ株式会社
 イワタニファイナガス株式会社
 イワタニフーズ株式会社
 岩谷物流株式会社
 イワタニ・プリムス株式会社
 イワタニ・プロモーション株式会社
 岩谷ベンチャーキャピタル合同会社
 岩谷マテリアル株式会社
 エア・ケミカルズ株式会社
 エーテック株式会社
 エヌ・ケイ・ケイ株式会社
 株式会社エネライフ
 エル・エナジー株式会社
 株式会社大岡酸素商会

ガス保安検査株式会社
 関東プロパン瓦斯株式会社
 株式会社九州ステンレス加工センター
 株式会社キンセイセラミックス
 キンセイマテック株式会社
 甲賀エナジー株式会社
 コータキ精機株式会社
 国際衛生株式会社
 山陽エア・ケミカルズ株式会社
 株式会社セントラルガスセンター
 セントラル石油瓦斯株式会社
 丹後瓦斯株式会社
 東海産業株式会社
 トキコシステムソリューションズ株式会社
 西日本イワタニガス株式会社
 日本ガスケミ株式会社
 東日本イワタニガス株式会社
 富士の湧水株式会社
 株式会社ホームエネルギー北海道
 株式会社ホームエネルギー東北
 株式会社ホームエネルギー首都圏
 株式会社ホームエネルギー新潟
 株式会社ホームエネルギー西関東
 株式会社ホームエネルギー東関東
 株式会社ホームエネルギー長野
 株式会社ホームエネルギー東海
 株式会社ホームエネルギー北陸
 株式会社ホームエネルギー近畿
 株式会社ホームエネルギー四国
 株式会社ホームエネルギー山陽
 株式会社ホームエネルギー山陰
 株式会社ホームエネルギー九州
 株式会社ホームエネルギー南九州
 マル斗産業株式会社
 南九州マル斗株式会社
 山口リキッドハイドロジェン株式会社
 横浜液化ガスターミナル株式会社
 公益財団法人岩谷直治記念財団
 岩谷化学工業株式会社 他

海外拠点

2023年8月1日現在



[アジア]
 北京駐在員事務所…………… TEL 86-10-6590-6078
 岩谷(中国)有限公司…………… TEL 86-10-6590-6078
 岩谷(中国)有限公司 上海分公司…………… TEL 86-21-6841-0899
 岩谷(中国)有限公司 広州分公司…………… TEL 86-20-3883-8998
 大連岩谷貿易有限公司…………… TEL 86-411-8369-1810
 大連岩谷貿易有限公司 天津分公司…………… TEL 86-22-8319-1910
 上海岩谷有限公司…………… TEL 86-21-6881-1188
 上海岩谷有限公司 北京分公司…………… TEL 86-10-6590-6078
 上海岩谷有限公司 常州分公司…………… TEL 86-519-8333-7850
 上海岩谷有限公司 無錫分公司…………… TEL 86-510-8050-2956
 無錫岩谷貿易有限公司…………… TEL 86-510-8050-2956
 武漢岩谷商貿有限公司…………… TEL 86-27-8761-7557
 孝感岩谷気体有限公司…………… TEL 86-712-439-0888
 広州岩谷貿易有限公司…………… TEL 86-20-3883-8998
 広州岩谷貿易有限公司 深圳分公司…………… TEL 86-755-8254-8452
 丹東岩谷東洋燃気表有限公司…………… TEL 86-415-425-0168
 岩谷気具(珠海)有限公司…………… TEL 86-756-338-3200
 岩谷気具(珠海)有限公司 上海分公司…………… TEL 86-21-6282-8852
 岩谷気具(珠海)有限公司 広州分公司…………… TEL 86-20-8765-8885

岩谷気具(珠海)有限公司 武漢分公司…………… TEL 86-27-8544-8830
 岩谷気具(嘉興)有限公司……………
 大連岩谷気体機具有限公司…………… TEL 86-411-8761-1560
 上海石化岩谷気体開発有限公司…………… TEL 86-21-5882-3300
 嘉興岩谷気体有限公司…………… TEL 86-573-8527-7746
 賽の克恒豊精密包装(上海)有限公司…………… TEL 86-21-5866-6009
 賽の克恒豊精密電子材料(蘇州)有限公司…………… TEL 86-512-6636-6806
 蘇州岩谷金属製品有限公司…………… TEL 86-512-5311-8570
 唐山金生機能材料有限公司…………… TEL 86-315-385-3861
 蘇州金生機能材料有限公司…………… TEL 86-512-6665-7995
 中山岩谷有限公司…………… TEL 86-760-2361-8600
 中山岩谷貿易有限公司…………… TEL 86-760-2361-8600
 中山笠谷精密機電有限公司…………… TEL 86-760-2361-8608
 香港岩谷有限公司…………… TEL 852-2199-7727
 賽の克恒豊貿易有限公司…………… TEL 852-2635-9208
 台湾岩谷股份有限公司…………… TEL 886-2-2506-6955
 韓国岩谷産業会社…………… TEL 82-2-753-8381
 フィリピン岩谷会社…………… TEL 63-917-838-1645
 フィリピン岩谷貿易会社…………… TEL 63-917-838-1645
 シンガポール岩谷会社…………… TEL 65-6220-8347

シンガポール岩谷会社 ジュロン工場…………… TEL 65-6862-2111
 イワタニ・ノックスガス会社…………… TEL 65-6862-2111
 マレーシア岩谷会社…………… TEL 60-3-2164-8660
 イワタニSIG会社…………… TEL 60-86-255-339
 キンセラ会社…………… TEL 60-3-8724-8846
 泰国岩谷会社…………… TEL 66-2-231-1764
 泰国岩谷会社 ランブーン支店…………… TEL 66-53-552-451
 イワタニトモエタイ会社…………… TEL 66-2-231-1764
 IGMT会社…………… TEL 66-2-231-1764
 バンコクアイ・トーア会社…………… TEL 66-34-490-729
 イワタニカセットフー(タイ)会社…………… TEL 66-2-231-1764
 ベトナム岩谷会社…………… TEL 84-24-3946-1330
 ベトナム岩谷会社 ホーチミン支店…………… TEL 84-28-3821-7245
 インドネシア岩谷会社…………… TEL 62-21-252-3450
 イワタニインダストリアルガスインドネシア会社…………… TEL 62-21-890-4373
 インド岩谷会社…………… TEL 91-124-4555-666

[オセアニア]
 岩谷オーストラリア会社…………… TEL 61-8-9439-8815
 岩谷オーストラリア会社 メルボルン事務所…………… TEL 61-3-9982-6313

岩谷オーストラリア会社 プリスベン事務所……………
 ドラールミネラルサンズ会社…………… TEL 61-8-9725-5411
 ドラールフーズドマテリアルズ会社…………… TEL 61-8-9439-2236
 キースブルックルコクシン会社…………… TEL 61-8-6557-5340
 岩谷フォレスト会社…………… TEL 61-8-9439-8815

[北米]
 米国岩谷会社…………… TEL 1-713-965-9970
 米国岩谷会社 カリフォルニア支店…………… TEL 1-669-236-4450
 米国岩谷会社 カリフォルニア支店 シリコンバレー事務所……………
 アドバンスド・スペシャルティ・ガズ会社…………… TEL 1-775-356-5500
 アスペンエア会社…………… TEL 1-406-259-9014

[欧州]
 欧州駐在員事務所…………… TEL 49-89-2370808-0

[中東]
 中東駐在員事務所…………… TEL 971-2-658-5701
 ドーハ駐在員事務所…………… TEL 974-4431-3140
 ガルフヘリウムサービス会社…………… TEL 974-4427-1780

ガス供給拠点

2023年7月1日現在

LPガス

■ 一次基地(輸入・備蓄基地) 5カ所

鹿島液化ガス共同備蓄(株) 鹿島事業所
根岸液化ガスターミナル
堺LPG輸入ターミナル
日鉱液化ガス(株) 水島基地
大分液化ガス共同備蓄(株) 大分事業所

▲ 二次基地(LPガスターミナル) 3カ所

横浜液化ガスターミナル*
平田LPGターミナル*
沖縄LPGターミナル*

● 三次基地(充填所) 110カ所 (*はLPG基幹センター:61カ所)

北見LPGセンター	袖ヶ浦LPGセンター*	輪島LPGセンター	小豆島LPGセンター
釧路LPGセンター*	エネライフ 南房総半沢支社	金沢LPGセンター*	坂出ガスセンター
とちぎLPGセンター*	前橋LPGセンター*	小松LPGセンター*	徳島LPGセンター*
石狩LPGセンター*	エネライフ 埼玉支社	福井LPGセンター*	高知LPGセンター*
札幌東LPGセンター	行田LPGセンター*	敦賀LPGセンター	松山LPGセンター
函館LPGセンター*	川越LPGセンター*	小浜LPGセンター	小倉LPGセンター
室蘭LPGセンター	岩槻LPGセンター*	京都北LPGセンター	福岡北LPGセンター
五所川原LPGセンター	東京LPGセンター*	京都LPGセンター*	筑豊LPGセンター*
青森LPGセンター*	エネライフ 西部支社	大阪東LPGセンター*	福岡LPGセンター*
能代LPGセンター	横須賀LPGセンター*	和歌山LPGセンター	大分LPGセンター*
秋田LPGセンター*	エネライフ 神奈川支社	田辺LPGセンター	佐賀LPGセンター*
盛岡LPGセンター*	湘南LPGセンター*	和田山LPGセンター*	大村LPGセンター*
山形LPGセンター*	小田原LPGセンター*	東播磨LPGセンター*	五島LPGセンター*
気仙沼LPGセンター	長野LPGセンター*	明石LPGセンター*	山鹿LPGセンター
古川LPGセンター	松本LPGセンター	姫路LPGセンター	熊本LPGセンター*
仙台LPGセンター*	上田LPGセンター	淡路LPGセンター*	人吉LPGセンター
原町LPGセンター	飯田LPGセンター	鳥取LPGセンター	宮崎LPGセンター*
郡山LPGセンター*	伊豆LPGセンター	米子LPGセンター*	都城LPGセンター*
白河LPGセンター	静岡LPGセンター*	津山LPGセンター	日南LPGセンター
いわきLPGセンター	掛川LPGセンター*	岡山LPGセンター	鹿児島LPGセンター*
六日町LPGセンター	遠州LPGセンター	備後LPGセンター	中部LPGセンター*
鹿沼LPGセンター*	黒部LPGセンター	福山LPGセンター*	西原LPGセンター*
小山LPGセンター*	富山LPGセンター	東広島LPGセンター	糸満LPGセンター
小山LPGセンター(セントラル)*	高岡LPGセンター	江田島LPGセンター	
エネライフ 日立充配センター*	東濃LPGセンター*	大田LPGセンター	
那須LPGセンター	岐阜LPGセンター*	浜田LPGセンター*	
茨城LPGセンター*	岡崎LPGセンター*	益田LPGセンター	
竜ヶ崎LPGセンター*	四日市LPGセンター*	下松LPGセンター	
千葉LPGセンター*	伊勢LPGセンター*	山口LPGセンター*	

産業ガス

■ 総合ガスセンター 21カ所

仙台ガスセンター	岩谷瓦斯(株) 岡崎工場
郡山ガスセンター	岩谷瓦斯(株) 宇治工場
つくばガスセンター	岩谷瓦斯(株) 尼崎工場
館林ガスセンター	兵庫ガスセンター((株)大岡酸素商会 姫路工場)
川越ガスセンター	岩谷瓦斯(株) 広島工場
アイ・エヌ・ジェイガスセンター(株)	宇部ガスセンター
東海産業(株) 湘南ガスセンター	イワタニ四国(株) 坂出工場
静岡ガスセンター(株)	岩谷瓦斯(株) 北九州工場
イワタニ北陸ガスセンター(株)	イワタニ福岡ガスセンター(株)
岩谷瓦斯(株) 小松工場	イワタニ熊本ガスセンター(株)
岩谷瓦斯(株) 三重工場	



産業ガス

▲ 空気分離プラント 9カ所

秋田液酸工業(株)
(株)仙台サンソセンター
エア・ケミカルズ(株) 喜連川プラント
岩谷瓦斯(株) 甲府工場
北陸エア・ケミカルズ(株)
(株)ハイドロエッジ
(株)コールド・エア・プロダクツ
山陽エア・ケミカルズ(株)
九州冷熱(株)

● その他 8カ所

岩谷瓦斯(株) 東京ヘリウムセンター
岩谷瓦斯(株) 千葉工場
UBE(株) 名古屋アンモニアセンター
岩谷瓦斯(株) 三重工場
岩谷瓦斯(株) 四日市工場
岩谷瓦斯(株) 大阪ヘリウムセンター
堺カーボニクス
岩谷瓦斯(株) 姫路工場

水素

■ 液化水素製造工場 3カ所

岩谷瓦斯(株) 千葉工場
(株)ハイドロエッジ
山口リキッドハイドロジェン(株)

▲ 圧縮水素製造工場 8カ所

千葉アイエススイソ(株)
岩谷瓦斯(株) 名古屋工場
東曹ダイスイ(株) 四日市工場
岩谷瓦斯(株) 尼崎工場
岩谷瓦斯(株) 水島工場
岩谷瓦斯(株) 南陽工場
南陽アイアイスイソ(株)
岩谷瓦斯(株) 佐賀工場

Iwatani

岩谷産業株式会社

大阪本社〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL(06)7637-3468
東京本社〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL(03)5405-5851

岩谷産業株式会社
ホームページ



この会社案内は、有害物の廃液量や使用量が少ない「水なし印刷方式」を採用しています。



揮発性有機化合物(VOC)を含まないインクで印刷しました。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。